

## 荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダム(平成29年10月26日撮影)

平成29年10月30日

関東地方整備局

# 1. 荒川4ダム等の現状

(1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（平成29年10月24日までの降水量）

本年は、3月を除き、6月までは平年値を下回る降水量で、1月～6月の合計降水量は平年の約6割程度と過去4番目に少ない状況でした。近年の荒川が渇水となった年と比較すると、2月は10mmと最も少なく、また6月は70mmは3番目に少ない状況でした。

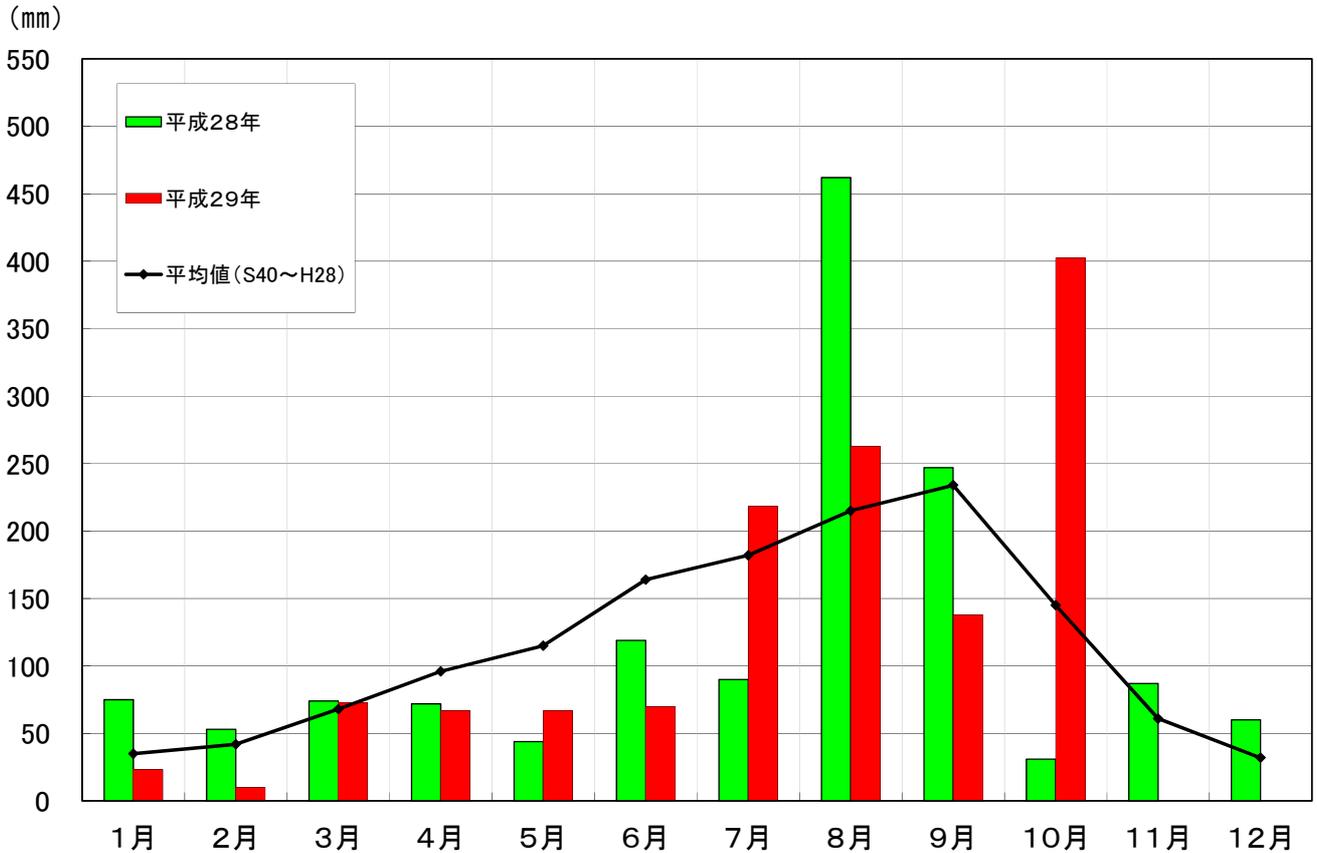


図-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

表-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（近年の渇水）※平成29年10月24日まで

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平均値(S40-H28)	35	42	68	96	115	164	182	215	234	145	61	32	1,389	
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	402			1,332	荒川夏渇水
平均値に対する割合(%)	67	24	107	70	58	43	120	122	59	277			96	

※ 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km<sup>2</sup>

(2) 荒川4ダムの貯水状況等（平成29年10月25日0時現在）

1月は平年並みの貯水量でしたが、2月の少雨とダムからの補給により、3月末頃には貯水率が50%を下回るまで減少しました。

その後、回復傾向にありましたが、少雨と農業用水の需要期を迎え、4月下旬には補給となり、7月5日より10%の取水制限、21日に20%の取水制限を実施しました。

8月に入って、台風7号等の降雨により貯水量は徐々に回復し、9月には平年並みまで回復しました。

表-2 荒川4ダム貯水量（平成29年10月25日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)	前日補給量 (万m <sup>3</sup> /日)
二瀬ダム	2,000	84	4	23
滝沢ダム	5,800	4,512	78	-243
浦山ダム	5,600	4,260	76	-162
荒川貯水池	1,020	993	97	-1
4ダム合計	14,420	9,849	68	-383
4ダム合計の平均値 (平成22年～平成28年)		7,442	(平均値に対する割合 132%)	

※1 有効容量は、常時満水容量。

※2 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

※3 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

※4 二瀬ダムは9月より貯水池の堆砂対策の一環として、堆砂が進んでいる箇所において、土砂掘削工事を実施しています。

そのため12月末までの間、貯水位を下げています。

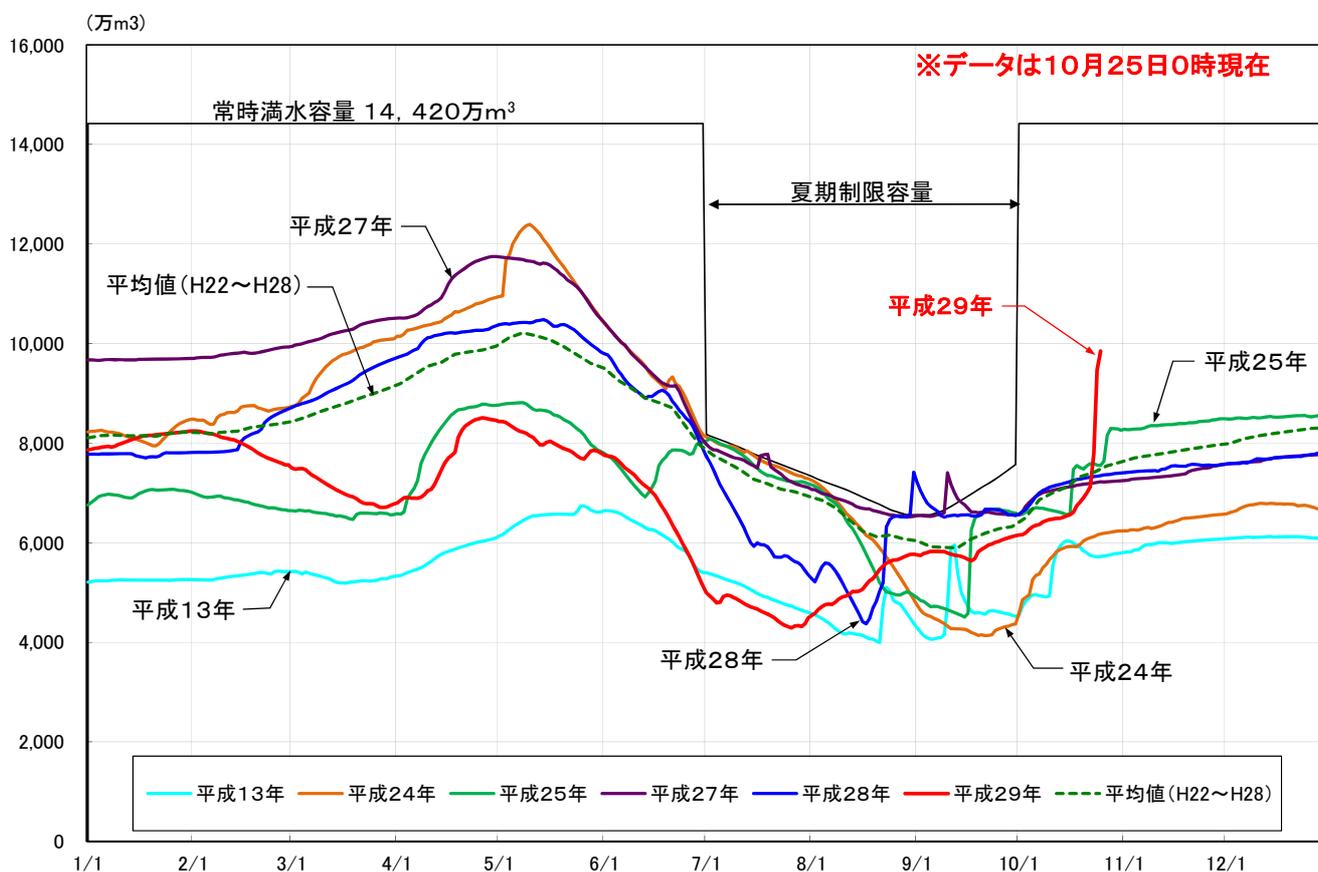
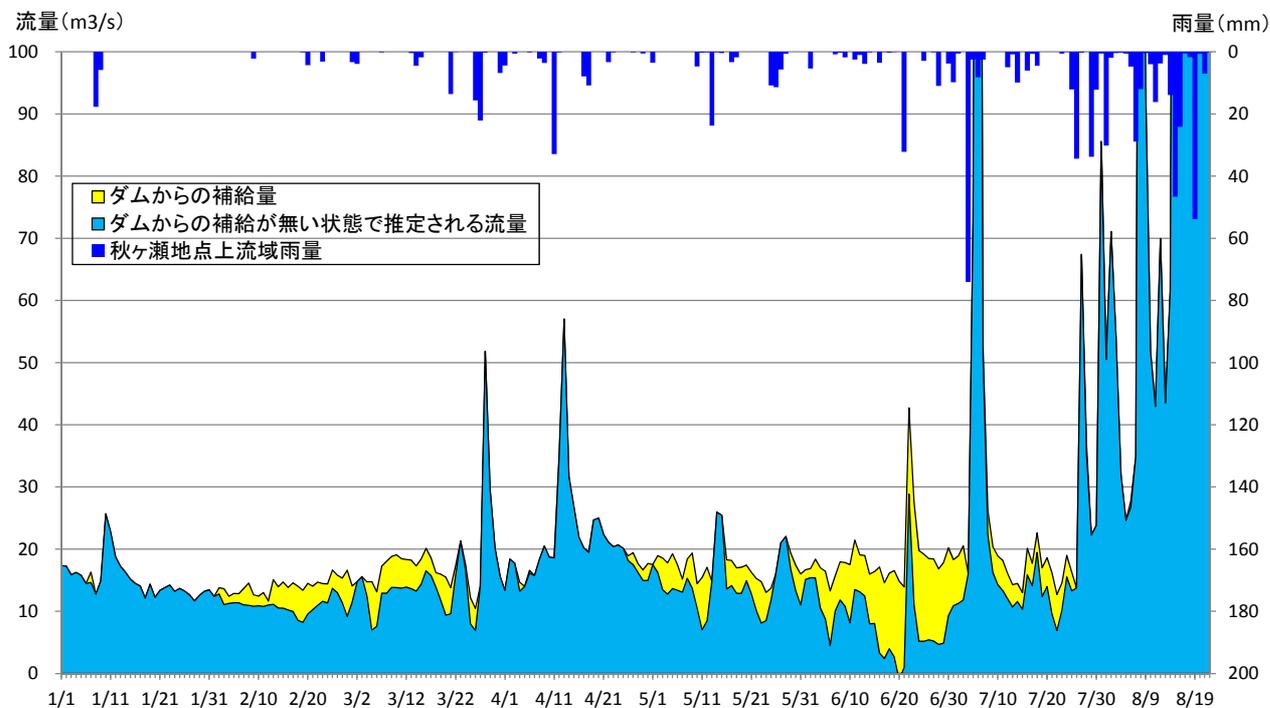


図-2 荒川4ダム貯水量図

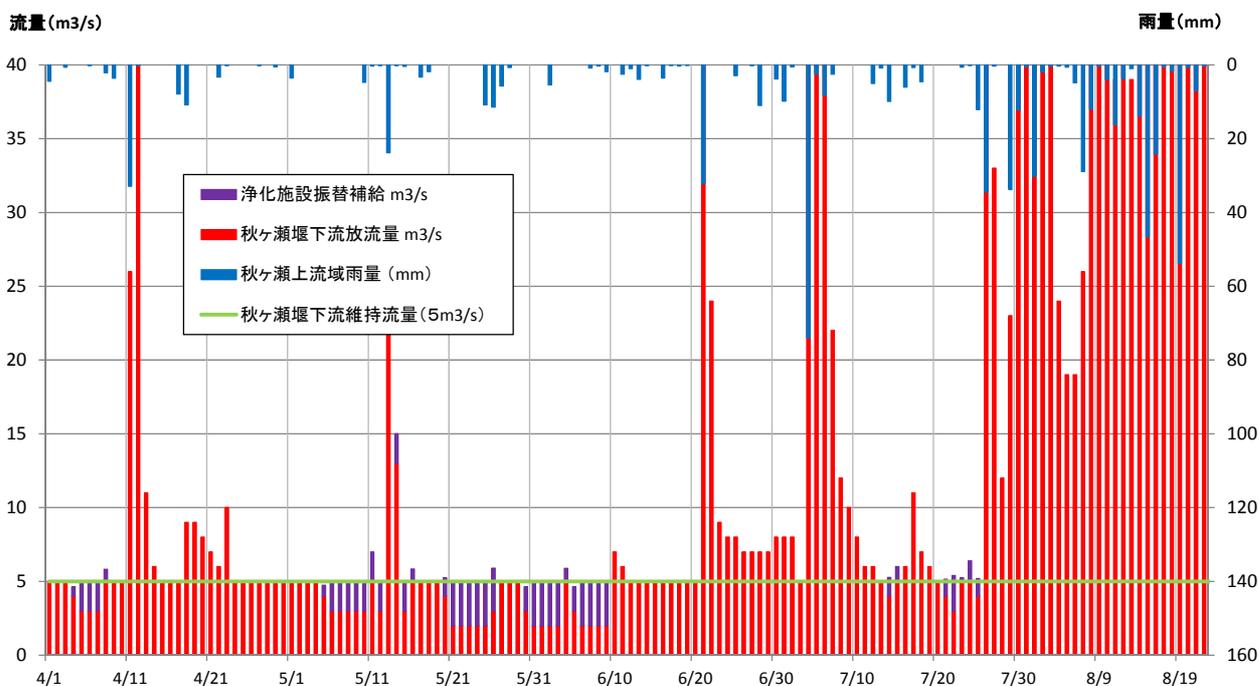
(3) 荒川4ダムからの補給状況及び荒川第一調節池浄化施設の活用状況

安定的な水利用のため、平成29年1月1日から8月22日までの期間で、荒川4ダム（二瀬・滝沢・浦山・荒川貯水池）から約6,000万 $m^3$ 補給しました。なお、7月下旬からの断続的な降雨により河川流量が増加したため、荒川4ダムからの補給の必要が無くなり、貯水量の回復に努めました。

また、河川流量の減少により、秋ヶ瀬取水堰下流への維持流量（5 $m^3/s$ ）が不足するときに浄化施設から振替補給することで、荒川4ダムからの補給が削減されました。



図－3 荒川4ダムからの補給状況



図－4 荒川第一調節池 浄化施設の運用状況

## 2. 今後の見通し

### (1) 気象予報

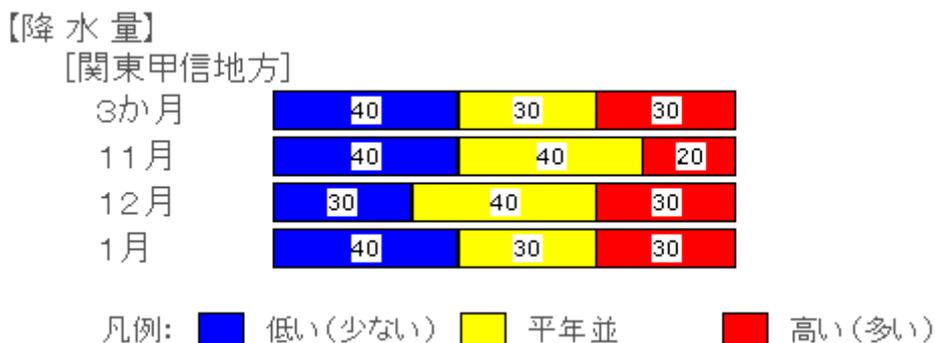
平成 29 年 10 月 26 日気象庁発表の関東甲信地方の 1 か月予報(10 月 28 日から 11 月 27 日までの天候見通し)によると、平年に比べ晴れの日が多く、向こう 1 ヶ月の降水量は「平年並」の確率 40%となっています。また、10 月 25 日気象庁発表の 3 か月予報(11 月から 1 月までの天候見通し)によると、11 月の天気は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「平年並み」または「少ない」確率ともに 40%となっています。12 月は平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率 40%となっており、1 月は平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「少ない」確率 40%となっています。

なお、9 月 25 日気象庁発表の寒候期予報(10 月から 2 月までの天候の見通し)によると、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「平年並」の確率 40%となっています。

#### 1 か月予報 (平成 29 年 10 月 26 日発表)

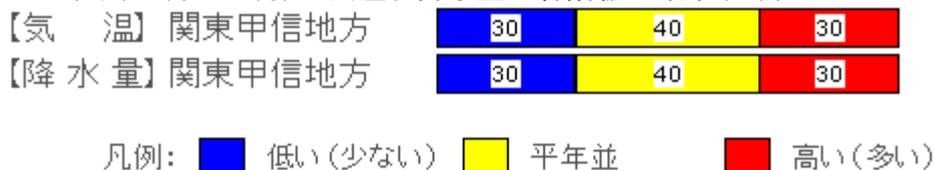


#### 3 か月予報 (平成 29 年 10 月 25 日発表)



#### 寒候期予報 (平成 29 年 9 月 25 日発表)

〈冬(10月～2月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



### (2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

荒川 4 ダムのうち、二瀬ダムは施設の維持管理に必要な工事を実施するため、9 月 9 日より貯水量を制限した運用を行っていますが、12 月末までには工事制限水位を解除する予定です。



### 3. 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降雨状況や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。また、荒川ダム群の貯水量や降水量の状況、必要に応じて工事の進捗状況等の情報共有を引き続き、積極的に行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。